

# 【高等学校「情報Ⅰ」 単元「情報デザイン」、「探究的な学び」】①

北海道

## 学習指導と学習評価の工夫・改善点の概要

この単元は、情報デザインの役割や目的についての仮説を立て、アクセシビリティ、ユーザビリティやシグニファイアにより、人の行動の変化を検証し、シンキングツールを活用してピクトグラム制作の過程を可視化し、制作したピクトグラムが、目的や意図を持った情報を受け手に分かりやすく伝達できるかを話し合い、相互評価により学習過程を振り返る「探究的な学び」を意識した構成となっている。

## 評価規準

### 【知識・技能】

情報デザインの考え方について理解し、情報デザインの方法を身に付けている。

### 【思考・判断・表現】

目的や受け手の状況に応じた情報デザインを考え、情報デザインの考え方や方法を用いて表現できる。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

コミュニケーションの目的を明確にしようと粘り強く取り組もうとし、学習活動を振り返ることを通して、自らの学習を調整しようとしている。等

## 【各小単元は、次のように設定】

① 情報デザインの方法  
＜課題の設定＞ 1時間

② 社会の中での情報デザインの  
分析と探究＜情報の収集＞  
1時間

③ コンテンツの企画と制作  
＜整理・分析＞ 1時間

④ コンテンツの評価と改善  
＜まとめ・表現＞ 2時間

探究  
の  
過  
程

## 学習指導と学習評価の工夫・改善の具体的な取組

【ねらい】 制作したピクトグラムを相互評価し、意見交換を行い、情報デザインの考え方や方法に基づいた学習活動であったかを振り返り、新たな課題の発見につなげる。

### 【主な学習内容】

- 制作しているピクトグラムを表示し、5人程度のグループ内で相互評価を行う。
- 相互評価で得られた助言を参考に、制作中のピクトグラムを修正し、クラウドサービスに保存する。
- クラウドサービスを利用して配信されたアンケートに振り返りや新たな課題等を入力する。

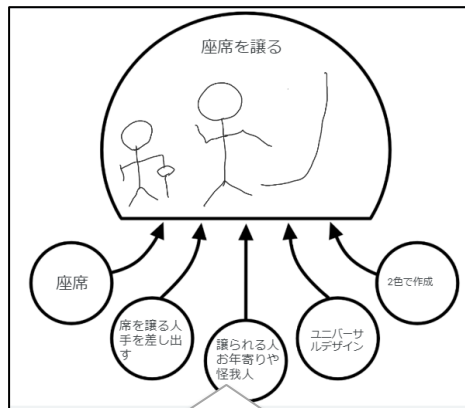
### 【総合的な探究の時間との関連】

生徒一人一人が自分で課題を発見し探究する単元とするためには、生徒の興味・関心等に応じたものであると同時に、生徒が自分にとって価値のある課題であると認識できるものにするのが大切である。ここでは、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインという考え方を基に、意図した学習を効果的に生み出す単元構成とした。

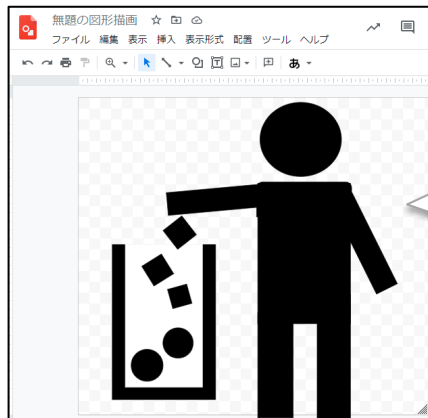
# 【高等学校「情報Ⅰ」 単元「情報デザイン」、「探究的な学び」】②



図形描画アプリでピクトグラムを制作する様子



シンキングツールを活用して、コンテンツ制作を企画する。1人1台端末を活用して、手書きイラストにより制作イメージを持てるようにする。



図形描画アプリを活用して、ピクトグラムを制作する。クラウドサービスに保存することでピクトグラムが一覧表示される。



1人1台端末で制作したピクトグラムを相互評価する様子

## 学習の振り返り

ピクトグラムを制作する上で難しかったことは何ですか。また、それをどのように解決しましたか。

2色で表現することです。実際に社会で使われているピクトグラムの多くは2色です。2色でパーツとパーツの区別をつけることと情報を分かりやすく伝えることの両立に苦労しましたが、最終的には表現することができました。

## クラウドサービスのアンケート機能を活用した学習の振り返り

### 【観点別学習状況の評価の具体例】

「十分満足できる」状況 (A) と判断した具体的な例

- ◆意図したピクトグラムを制作しようと粘り強く取り組んだことが具体的に記述されており、ピクトグラムに反映されていることから、(A) と判断した。

## 「共通教科情報科「情報Ⅰ」の学習指導と学習評価の工夫・改善について」

## (2) 【高等学校「情報Ⅰ」 単元「情報デザイン」、「探究的な学び」】②

単元「情報デザイン」における「探究的な学び」を例として、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点について学習指導と学習評価する方法を示した事例である。

小単元「コンテンツの評価と改善」の指導において、生徒一人一人が自分の課題を発見し、探究する単元とするために、学習内容が生徒の興味・関心等に応じたものであると同時に、生徒が自分にとって価値のある課題であることを認識できる工夫がされている。

また、相互評価により学習過程を振り返る「探究的な学び」を意識した構成になっていることから、総合的な探究の時間との関連が期待できる。